

プロフェッショナリズム 4

【単位数:0.5単位, 授業10コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-b, I-2-b, I-3-b, I-4-b, I-5-b, I-6-b, I-7-b, I-8-b, I-11-b, I-12-b, I-13-b, I-14-b, I-15-b)

- ① コンピテンスのである「Iプロフェッショナリズム(医師としての価値観・態度・姿勢, 生涯学習・自己啓発・自己管理, チーム医療・医療安全)」の理解を深めるために, プロフェッショナリズムの概念及び様々な要素の修得のための知識を身につける。
- ② プロフェッショナリズムとは, 医療者, 医学生として最低限身に付けておくべき最低限の能力と, 医療者, 医学生として常に高みを目指す姿勢を保つ向上的目標の2つがある。その両方の基本的概念を理解し, それらを日々の学生生活で実践することは具体的にどのようなことかを自身で考え, 実践できるようになる。
- ③ 医師として生涯にわたり社会貢献していくために, どのようにキャリア形成していくか, 考えることができるようになる。
- ④ 臨床倫理の具体的事例について深く考え, 議論できる。
- ⑤ 多職種連携で自分の職種の立場で議論・作業に参加でき, かつ, 他職種の立場を理解したうえで, 協働できるようになる。

(2) 学修目標

- ① プロフェッショナリズムの概念を理解する。
- ② アンプロフェッショナルな行動とは何かを理解し, それを回避することができるようになる。
- ③ 認知症や高齢者ケアにおいて「人間としての尊厳を守る」ことを中心に据えたケア技法・哲学であるユマニチュードの概要を理解し, その基本的手法を修得する。
- ④ 健康の社会的決定要因の概念を理解し, そのアプローチの基本を修得する。
- ⑤ ACP, 悪い知らせの伝え方の基本を修得する。
- ⑥ バーンアウト回避のための基本を理解する
- ⑦ 多様性, 包摂性の概念を学び, 臨床現場での対応の基本を修得する。
- ⑧ 3年次から学んできたプロフェッショナリズムに関するさまざまなテーマ全体を復習を含めて学びなおす。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	・記述式及び多肢選択問題
レポート	○	20%	・非常勤講師の講義内容の感想を、講義当日の24:00までにAIDLE-Kに提出すること。記載内容をあらかじめ提示する評価基準によって各10点満点で採点する。 ・提出が指定された期限から遅延した場合は、原則受理はするが採点は行わない。 【再評価について】 レポートの再評価は行わない。 病欠の場合は、事前に連絡すること。別課題を与える。事前連絡がない場合は再評価しない。
態度	○	—	態度不良の場合は、総合判定から最大10点を限度に減点する。特に外部講師の講義の際には、パソコン、スマートフォン、タブレット等の電子機器や教科書等、講義に必要なものは鞆に入れておくこと。これらが守られない場合は総合判定から10点を限度に減点とする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

- 評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。
- 非常勤講師の講義内容の感想の評価は下記の通りとする。
 - ・キーワードを3つ挙げ、各キーワードに関して、講義内容に関する自分自身の考えを記載する。講義資料からの転載、一般的・教科書的な内容の記載は不可とする。
 - ・自身の十分な考えが記載されている場合、外部講師による講義1つにつき10点満点で採点する。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートに対しては、全体メールでフィードバックする。

試験問題の解答について、学生の多くが理解できていないと思われる点について、メールでフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
白衣のポケットの中 医師のプロフェッショナリズムを考える8	宮崎 仁, 尾藤誠司, 大生定義 編	医学書院	プロフェッショナリズムの概念, 具体的事例について分かりやすく 記載されている。
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム	Levinson, L著 宮田靖志監訳	カイ書林	日常臨床でよく遭遇する具体的 プロフェッショナリズム事項につ いて, その対応が書かれている 実践的な内容である。
医療プロフェッショナリズム教育	クルーズ, R 他 編	日本評論社	やや難解であるが, 包括的に解 説されている。
ABC of 医療プロフェッショナリズム	Coope, N著 宮田靖志監訳	羊土社	プロフェッショナリズムの概念か ら現代の医療現場での課題ま で, 広くかつ簡潔に解説されて いる。
臨床現場のレジリエンス 医療従事者のウェルビーイングのために	Frain, A著 宮田靖志	遠見書房	バーアウト回避の基本的な考え 方が整理されている。
医療の倫理ジレンマ	バーナード・ロウ	西村書店	臨床における様々な具体的倫 理事項を取り上げ, その解消の ための考え方を詳細に説明して いる。
実践 SDH診療 できることから始める健康の社会的決定要 因への取り組み	日本プライマリ・ ケア連合学会	中外医学社	健康の社会的決定要因に関す る実践について分かりやすく解 説されている。
医療者のためのLGBTQ講座	吉田絵理子編	南山堂	セクシュアリティと医療に関する 知識が分かりやすく解説されて いる。

6 準備学習（予習・復習）

2日前までに講義資料をAIDLE-Kにアップするので, それに目を通しておくこと。(このコース全体の準備として, 0.5時間)

7 授業計画

(1) 講義の方法

講義資料のすべてを詳細に解説することはしない。プロフェッショナリズムに関する知識の整理のため, 簡単な講義後, 自己省察, グループ討論, 全体討論, 課題の発表などを行う。主に事例検討を中心に授業を進める。

(2) 講義の内容

医療プロフェッショナリズムの各テーマについて, 自分で経験した, あるいは自分の周囲で生じたプロフェッショナル, アンプロフェッショナルな行動について発表, 討論しながら, プロフェッショナリズムの理解を深めていく。